

2019年8月20日 発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter No.191

発行人：福井県理学療法士会

〒910-0855

福井市西方 1-2-11 嶋田病院

会 長：四谷 昌嗣

ニュース編集部：辻 大樹

会員数：931 名

施設数：174 施設

(令和 1 年 7 月末日現在)

福井ブロックの再編について

福井厚生病院 富坂勇太

昨年度より福井東ブロックの部長を務めております福井厚生病院の富坂勇太です。ブロック活動に携わるようになり 4 年目を迎えました。はじめは少数で年 1, 2 回の勉強会活動を行う程度でしたが、徐々に活動頻度や参加者も増えてまいりました。昨年より部長を拝命し手探りではありますが、ブロック内施設の先生方にご助力を頂きながら活動を行っております。

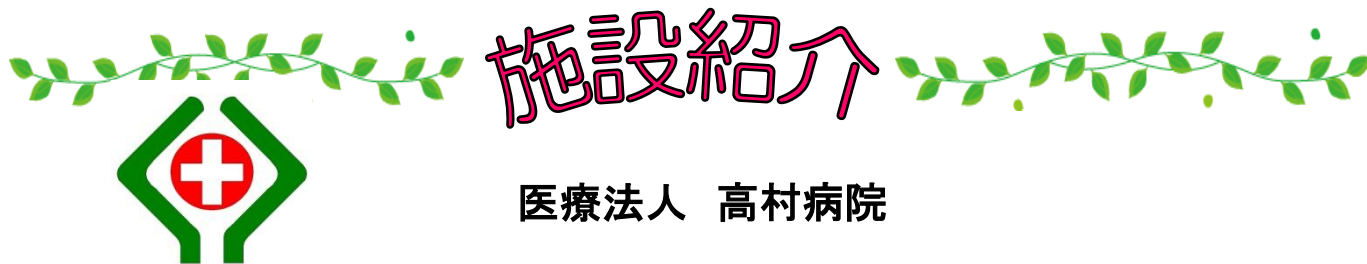
さて、福井ブロックは県内でも一番広い圏域をもち、地域中核病院から維持期施設まで多数の医療・介護機関が点在しています。これまでは福井市を、福武線を境に福井西・福井東と 2 つのブロックに分け活動してきました。私は主に東ブロックを担当して参りましたが、広い圏域ゆえに参加者が集まりにくい、医療・介護領域が混ざった会議でそれぞれの施設が抱えている悩みを共有し解決策を模索することに難渋するなど課題が多くありました。そこで、県士会のブロック再編案として、本年度より施設間のネットワーク拡大を図るため福井ブロックを、病院を中心とした福井医療ブロック、介護保険サービス施設を中心とした福井介護ブロックに分けることとなりました。同じ領域の施設が集まり問題・課題を共有し解決していく一助となるための編成を組み、また医療・介護間の連携に関わることは医療ブロック・介護ブロックそれぞれの代表者が話し合える枠組みを作っていきたいと考えています。これまでのブロック部の形とは大きく体系が変わるため、当面は活動の内容も研修会を主体としたものから連携会議を主に活動していくことになるかと思われます。

近年、市や包括支援センターなどから地域連携ケア会議への出席や介護予防指導、ケアマネージャー向けの講習など PT へ様々な依頼が増えてきています。ブロックとしてもこういった依頼にスムーズに対応できるよう、普段から近隣の施設とコミュニケーションを図り、特徴や強み、どのような PT がいるのか知ることによって他職種や地域からのニーズに応えられるのではないかと思います。福井医療ブロック、福井介護ブロック各々が協力して、新しいブロック体制を盛り上げていきたいと思っています。県士会員の先生方にもご協力いただけると幸いです。よろしくお願い致します。



福井県理学療法士会

2019年8月20日



私たちが働いている高村病院は、鯖江の神明駅から徒歩1分の位置にあり、また同じグループ法人として、老健の神明ケアセンター、通所リハビリセンター、訪問リハビリステーション神明、居宅介護支援事業所の神明介護支援センター、特養のエレガントセニールガーデンがあります。高村病院をはじめグループ全体でいつも利用者第一をモットーに、地域医療サービスをはじめ、介護福祉サービスに至るまでトータルなケアサービスの提供に努めています。



高村病院は一般病棟30床、療養病棟33床の合わせて63床あり、診療科目は11科目で、リハビリ施設基準は運動器リハⅠ、脳血管リハⅡ、呼吸器リハⅠを取得しています。

リハビリテーション部は全体でPT8名、OT11名、ST1名、柔道整復師4名が所属しており、それぞれ病院、老健、通所リハ、訪問リハに従事しています。

通所リハビリテーション 定員 通所：50人

自宅から通って来られる要介護者の方々に対して、自宅での生活が維持・改善できるようリハビリを行っています。介護度が重度の方と、軽度・中等度の方をフロアごとにわけ、各個人に適したサービス提供を心掛けています。

老健施設 神明ケアセンター 定員 入所：80人

入所の方々が施設内で安全に楽しく生活でき、在宅への架け橋となるようにリハビリを行っています。生活の場となるので、楽しみの提供や生きがいを見つけられるよう、QOLの向上を目指しリハビリを行っています。



訪問リハビリテーション1日の訪問件数

1スタッフあたり：5～6件

訪問リハビリ実施地域：鯖江市・越前市・越前町・福井市南部

PT・OTが専従し、実際の在宅生活に、生き生きとした自宅生活ができるようアプローチしています。機能訓練、ADL練習はもちろん、自宅での生活が改善できるような自助具や自主練習用の道具の支援も行っています。

2019年8月20日

Professional ~Style of works~

Profile

- ・氏名：石田修平
- ・所属先：嶋田病院
- ・修得資格：認定理学療法士（運動器）
- ・経験年数：6年目
- ・出身校：若狭医療福祉専門学校
- ・その他の資格：なし



写真 右端

Questions

Q1 この資格を取得しようと思った理由を教えてください。

自分の臨床の中で運動器に関わる事が多く、資格を取ることで活かせることが見つかるのではないかと思います、受験しました。

Q2 この資格に関わる魅力を教えてください。

臨床でより専門性をもって取り組むようになり、スタッフ間での相談や治療に関しても意識することが多くなったと思います。

Q3 この資格を取得して良かったと思うことを教えてください。

資格取得の際に今まで分かっているようで理解していなかったことを再学習する機会になったのは良かったと思います。また資格を取得したことで更に勉強をし、専門性高めていかないと思っています。

Q4 この資格を取得するために大変だった事などを教えてください。

すでに取得している先輩に教えて頂いたり、テキストを参考に勉強しました。同時期に受験するスタッフもいたので共通の部分などは協力して勉強して行きました。

Q5 今後のセラピスト活動に対する計画や目標、希望などを教えてください。

認定理学療法士の資格に恥じない様により専門性を持って取り組めるようにしていきたいです。

2019年8月20日

理学療法展 2019

嶋田病院 高氏涼太

7月14日（日）に今年も理学療法展 2019を開催しました。毎年、ラブリーパートナー・エルパにて開催を続けて参りましたが、今年も広報部員だけでなく、協力スタッフが多数参加して下さい、来場してもらったお客さんに多く貢献できたのではないかと感じております。また、体験コーナーの来場者は約100名の方が参加して下さい、来場者も200名以上の方が立ち寄られました。

今年は「変えよう！気になる猫背」というテーマの下に体験コーナーでは、座位姿勢の評価と運動指導を行いました。評価は自在曲線定規というものをを用いて、背もたれなし座位にて脊椎のアライメントを定規で測定しました。測定は脱力した姿勢で矢状面の写真と計測した数値を基準値と照らし合わせて、パネルで簡単な運動指導を行いました。毎年、ご自身の姿勢を写真で見てもらいながら、説明を行っていますが、「客観的に見られてよかった」、「自分の姿勢を見たことがなかったのでよかった」などのご好評を頂いております。また近年、子供の姿勢も重要視されてきており、若い年齢の来場者の割合が増えている為、姿勢に対しての関心が増えてきているのを実感しました。

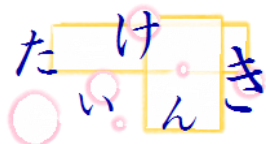
体験コーナー以外に今年は公開講座にかわり、筋力選手権を開催しました。握力計や背筋計を使用して筋力測定を行い、男性と女性ともに年齢関係なく、力自慢をして頂きました。中には「握力をつけたい」「筋力をつけたい」など、筋力強化方法を尋ねられる方もおられました。日頃、ジムにも通っておられる方も多数いらっしゃり、健康に対する意識が私たち以上に高いと思ったこともありました。

最後に、今年度もいつも以上の多数のスタッフの参加もあり、大盛況で理学療法展 2019を開催でき

ました。ご協力頂いたスタッフの方々には心より感謝いたします。体験者のアンケートには、昨年も参加された方の割合が増えてきており、企画を立てている私としては大変うれしく思っております。私自身、理学療法展に9回参加しており、初めて参加したときに比べて理学療法士の認知度が高くなってきているように感じます。このような活動を通して病院や施設、スポーツ現場だけでなく、理学療法士として地域社会に広報・参加できる場として、今後も大切に行っていきたいと思っております。



2019年8月20日



スポーツ支援部の活動を通して、今、思うこと

山内整形外科 藤間 尚人

私は3年前までは石川県の病院でPTをしていました。石川県士会でもスポーツ支援部に所属して色々な活動をしていましたが、自分の中で納得できる活動ができていませんでした。そこで、福井国体が開催されるため、自分に新しくできることがあるかもしれないと思い、福井に帰ってくることを決めました。

福井県では国体トレーナーとして活動するには県認定アスレティックトレーナー（APT）の認定を取らなければいけませんでした。研修期間は終わっていましたが、トレーナー部会に配慮していただき、柔道競技を担当し、国体当日も帯同させていただくことができました。

県士会ではスポーツ支援部に所属し、高校野球選手権福井大会のメディカルサポートや車いすアーチェリー選手の強化練習サポート、全国および福井県の障がい者スポーツ大会のコンディショニングルームのスタッフなど派遣依頼があればなるべく参加してきました。そこで、得られた人脈によって県の障がい者スポーツ協会の方から福井県ボッチャ協会が設立されることを聞き、その立ち上げのメンバーに入れてもらえることになりました。

ボッチャは東京パラリンピックではメダル候補ですし、全国障がい者スポーツ大会の正式競技になることからこれからメジャーになるとおもいます。

このように少しは納得できる活動ができはじめたのは、福井県に移って、とにかくがむしゃらにその時にできる自分の仕事に向き合ってきた成果だと思います。確かに普段の業務以外の県士会活動はとても大変なことだと思います。時間も体力も削られますし、精神の面でも疲れることが多いです。しかし、必ず自分のためになることはあると思います。今、もし、やりたいことがあり、躊躇していることがあれば、思い切って、一歩踏み出してみませんか。



全国高校野球選手権福井大会のメディカルサポートに参加して

山内整形外科 藤間 尚人

スポーツ支援部では、毎年、全国高校野球選手権福井大会の準決勝、決勝のメディカルサポートをしています。私は予定通り25日の決勝戦に参加させていただきましたが、雨での順延に備え、6日間延びたことを想定してのべ12名（1日2名の配置）の会員が勤務を調整していました。

今年は、準決勝以前の試合日は雨や曇りの日が多かったですが、準決勝、決勝は天気恵まれ、その分、気温も非常に高く、特に決勝では35度を超える暑さとなったため、熱中症の心配をしていました。

試合が始まり、熱中症を訴える選手や観客はなく、試合中に処置が必要となる怪我をした選手はいませんでした。試合後の閉会式の途中で気分が悪くなる選手がいましたが、大事には至りませんでした。今回の会場には、看護師と我々PTが待機し、緊急の事故に備えています。このようなスポーツ現場での経験は、普段の業務ではなかなか経験できないことなので、これからも自分を成長させるためと思って、このような活動に参加していきたいと考えています。

2019年8月20日

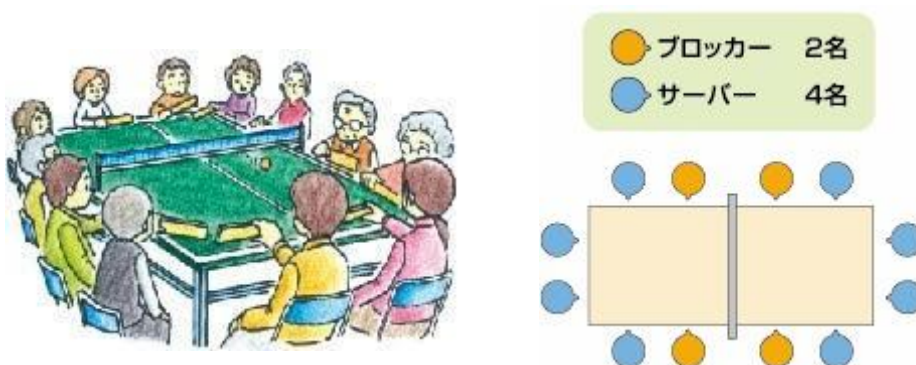
障がい者スポーツを学ぼう！

卓球バレー

文字通り卓球台と音のなるピンポン球を使ってバレーボールのように6対6で競うチームスポーツです。木の板のラケットでピンポン玉を転がしながら打ち返し、卓球台から5.7cm上げたネットの下を通り過させます。主に障がい者がプレーするスポーツとして考案された競技ですが、座って行うので、障がいの有無や年齢を問わず誰でもが一緒になって出来る競技として注目されています。レクリエーションとしても大変盛り上がる競技です。

ルール：

- ①サーブはネット際のブロッカー2名を除く、サーバー4名が順番に、各チーム交互に打ちます。
- ②点数は自分のコートから球が落ちたり、3回で相手コートに返せなかった場合に相手チームに得点が入ります。
- ③立ち上がってプレーしたり、お尻が座面から浮いた場合や、ブロッカーが相手サーブのボールを1回で返してしまった場合はファールとなり、相手チームの得点になります。
- ④大会では1セット15点で、2セット先取したチームが勝ちとなります。



ボランティア・見学いつでも歓迎します！！



興味のある方はご連絡ください。
福井県卓球バレー協会
森下 恭至
連絡先 yasuji424@gmail.com



2019年8月20日

障がい者スポーツ 体験イベントに参加しよう！

「福井しあわせ障スポ ☆ フェスタ」

<https://hfsa291.net/news/448/>



開催日時：令和元年9月8日（日）

会場：福井運動公園（県営体育館、9.98 スタジアム、他）

内容：

①スポーツ競技（11時～15時）

体験会

- ・陸上競技（25m 競走、スラローム、ビーンバック投げ）
- ・フライングディスク
- ・ボッチャ
- ・電動車いすサッカー
- ・スティックリング
- ・マレットゴルフ

競技会

- ・ソフトバレーボール
- ・卓球バレー



②特別企画（13時～15時）

- ・陸上競技トップアスリート交流会・講習会

※ボランティア希望はしあわせ福井スポーツ協会にお申し込みください



2019年8月20日

事務局からのお知らせ 8月

◆ 会員の動向（令和元年7月末現在）◆

会員数：931名（勤務先会員 898名、自宅会員 33名）、施設数：174施設
 新入会員：61名、休会者総数：94名、退会者数：0名

＊会員の皆様、当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

士会活動は皆様の会費によって運営されております＊

◆ 外部団体からの資料（平成31年4月～7月末受付分）◆

下記の資料を事務局で保管しております。ご興味ある方は事務局へお問い合わせください。



学 術 誌	
内 容	送 り 主
日本医療マネジメント学会 第18回福井県支部学術集会	福井県済生会病院 ハス推進室
理学療法湖都	(公社)滋賀県理学療法士協会
理学療法沖縄 学術誌	(公社)沖縄県理学療法士協会
理学療法研究・長野 No.47	(一社)長野県理学療法士会
理学療法学 Vol.46(2)	(公社)日本理学療法士協会
理学療法の臨床と研究 No.28	(公社)広島県理学療法士会
第70回北海道理学療法士学術大会 プログラム集	(公社)北海道理学療法士会
理学療法いばらき 第23巻	(公社)茨城県理学療法士協会
理学療法新潟Vol.22	(公社)新潟県理学療法士会
福井県診療放射線技士会 ふあっと福井 第40号	(公社)福井県診療放射線技師会
第33回和歌山県理学療法学会学術大会 大会誌	(公社)和歌山県理学療法士協会
理学療法-臨床・研究・教育 第26巻	(公社)埼玉県理学療法士会
理学療法学 Vol.46(3)	(公社)日本理学療法士協会
高知県理学療法 2018 No.25	(公社)高知県理学療法士会
愛知県理学療法白書 あいち2018	(公社)愛知県理学療法士会
そ の 他	
内 容	送 り 主
福井しあわせ元気国体・障スポ 大会報告書の送付について	「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会実行委員会 会長 西川一誠
医学中央雑誌 収載誌目録2019	医学中央雑誌刊行会
退院支援の事例分析による在宅医療・介護への円滑な移行のための介護職視点を取り入れた在宅医療・介護連携促進に関する調査研究事業の結果報告書	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター
広報誌「REGAC」の送付について	(公社)広島県理学療法士会
NO L m it vo177	(公社)日本理学療法士協会
第48回定時総会 議案書	(公社)日本理学療法士協会
理学療法白書2018	(公社)日本理学療法士協会
北海道理学療法士会創立50周年記念誌	(公社)北海道理学療法士会
香川県理学療法士会創立50周年記念誌	(一社)香川県理学療法士会

ニ ュ ー ス	
内 容	送 り 主
静岡県理学療法士会ニュース ゆまにて No.173	(公社)静岡県理学療法士会
滋賀県理学療法士会ニュース No.213	(公社)滋賀県理学療法士会
秋田県理学療法 第26巻	(公社)秋田県理学療法士会
広島県理学療法士会ニュース No.257	(公社)広島県理学療法士会
神奈川県理学療法士会ニュース No.279	(公社)神奈川県理学療法士会
しあわせ福井スポーツ協会 第5号	しあわせ福井スポーツ協会
大阪府理学療法士会ニュース 第273号	(公社)大阪府理学療法士会
京都府理学療法士会ニュース NOW 280	(一社)京都府理学療法士会
JPTA NEWS No.318	(公社)日本理学療法士協会
愛知県理学療法士会ニュース No.193	(公社)愛知県理学療法士会
秋田県理学療法士会ニュース 第188号	(公社)秋田県理学療法士会
熊本県理学療法士協会「かくどけい」VOL.130	(公社)熊本県理学療法士協会
静岡県理学療法士会ニュース ゆまにて No.174	(一社)静岡県理学療法士会
群馬県理学療法士協会ニュース 源流 No.1387	(一社)群馬県理学療法士協会
ゆきわり草 新潟県理学療法士会ニュース No.187	(公社)新潟県理学療法士会
滋賀県理学療法士会ニュース No.214	(公社)滋賀県理学療法士会
大阪府理学療法士会ニュース 第274号	(公社)大阪府理学療法士会
JPTA NEWS No.319	(公社)日本理学療法士協会
広島県理学療法士会ニュース No.258	(公社)広島県理学療法士会
神奈川県理学療法士会ニュース No.280	(公社)神奈川県理学療法士会
秋田県理学療法士会ニュース 第189号	(公社)秋田県理学療法士会
士会だより 第180号	(一社)兵庫県理学療法士会
福井県言語聴覚士会ニュース 第51号	福井県言語聴覚士会
和歌山県理学療法士協会ニュース 87号	(公社)和歌山県理学療法士協会
「CSW, Sふくい」(第19号)	(一社)福井県社会福祉士会
鹿児島県理学療法士協会ニュース No.80	(公社)鹿児島県理学療法士協会
静岡県理学療法士会ニュース ゆまにて No.175	(一社)静岡県理学療法士会
愛知県理学療法士会ニュース No.194	(公社)愛知県理学療法士会
滋賀県理学療法士会ニュース No.215	(公社)滋賀県理学療法士会

立秋とは名ばかりの猛暑が続きますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

入会・異動等で、ご不明な点ございましたら、右記までお問い合わせください。

なお、事務局への Mail でのお問い合わせの際は、用件のみではなく、お名前・勤務先・連絡先をご記入ください。

また、会員管理システムからの各種申請におきまして、申請日から反映されるまでお時間がかかる場合がございます。申請は余裕をもってお手続きください。



2019年8月20日

令和元年度 福井神経理学療法研究会 特別研修会

バイオメカニクスと運動学習から 歩行再建を考える

講師 大畑 光司 先生

(京都大学大学院医学研究科)



日 時：令和元年10月12日（土）14：30～17：40
(受付開始 14:00～)

場 所：福井県立病院 3階講堂

参加費：研究会会員/2000円 会員外/4000円

※認定・専門ポイント理学療法士制度のポイント申請予定

【申込み・問い合わせ先】

申込みは下記のメール宛にお申込み下さい。メールタイトルは「特別研修会の参加申し込み」とし、必要事項（1.氏名 2.ふりがな 3.施設名 4.職種 5.日本理学療法士協会会員番号 6.メールアドレス）のご記入をお願い致します。

申し込みメールアドレス：fukui.npt@gmail.com

問い合わせ先：杉田玄白記念公立小浜病院 西本直起

TEL：0770-52-0990（代）

申し込み締め切り：9/30

福井神経理学療法研究会

2019 年 8 月 20 日

令和元年 8 月吉日

各位

第 7 回福井神経理学療法学会大会長

山岸 耕二

福井神経理学療法研究会長

小澤 純一

第 7 回福井神経理学療法学会大会開催のご案内

拝啓

時下、皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、福井神経理学療法研究会が主催し、第 7 回福井神経理学療法学会大会を下記の要綱どおり開催する運びとなりました。本学会は福井県内の病院および施設におけるニューロリハビリテーションの発展とそこで神経領域を専門とする理学療法士をはじめとする医療従事者の技術研鑽等を目的として年一回開催しております。つきましては、多くの皆様のご出席を賜りたく御案内申し上げます。ご多忙中恐縮に存じますが、何卒、御高配の程宜しくお願い致します。

敬具

記

1. 日 時 令和元年 10 月 13 日（日）
9:00～（8:30 受付開始）
2. 会 場 嶋田病院 7 階いちごホール
910-0855 福井県福井市西方 1 丁目 2 - 11
3. 内 容
 - 1) 特別講演 「歩行とその運動学的理解」
講師：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻
大畑 光司 先生
 - 2) 一般口述演題
4. 参加費 福井神経理学療法研究会員 無料
会員外 1,000 円
5. お問い合わせ先 第 7 回福井神経理学療法学会大会
準備委員長 竹下 和良（福井総合病院）
研究会および学会 HP: <http://fsnpt.jimdo.com/>
E-mail: fukui.shinkei.reha@gmail.com

以上

2019年8月20日

第7回福井神経理学療法学会演題募集要項

I. 応募資格

1. 福井神経理学療法研究会員のみでなく会員外および他職種の方も演題応募可能です。

II. 応募方法

1. 演題の申込み期間は、令和元年8月5日(月)から9月6日(金)14時までです。締切日を厳守下さい。
2. 演題名、発表者名、所属、連絡先(電話番号、E-mail アドレス)を明記し、抄録原稿とともに下記 E メールアドレスに送付して下さい。送付の際には、Eメールのタイトルを「演題申し込み」として下さい。
3. 抄録原稿の送付方法は、1 演題ごとに E メールによる添付とします。

III. 応募上の注意

1. 応募された演題と大会当日の発表内容が大幅に変わることのないようにして下さい。
2. 応募された抄録は学会長が委嘱した査読委員により査読を行います。
3. 演題申込みにあたっては、共同演者の了解を得た上で応募して下さい。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負う事をご承知下さい。
4. 内容の類似している複数演題および他学会や雑誌等で発表済みの演題応募はご遠慮下さい。
5. 本文中に研究対象にとって不利となるような属性(人名、施設名等)を記載しないよう注意して下さい。
6. 学会準備委員会ではこれらの点についてチェックしませんので、すべて登録者の自己責任において記載を行って下さい。
7. ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認下さい。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記して下さい。なお、演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を記載して下さい。抄録中に倫理規定に関する記述がない場合には採択できませんので注意して下さい。
8. 採択された演題の取り消しは出来ません。
9. 抄録の著作権(著作権法 27 条 翻訳権、翻案権等 28 条 二次的著作物の利用に関する原作者の権利)は、当研究会に帰属させていただきます。当研究会は、当該抄録等の全部または一部を、当学会ホームページ、当学会大会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとします。

IV. 抄録原稿の作成様式

1. 抄録原稿は、Windows 版の Microsoft Word にて作成して下さい。
2. 図表や写真は掲載できません。
3. 演題名、演者、共同演者、所属、キーワード 3 個の順に記載して下さい。
4. 本文内容は【はじめに】【対象および方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】等の小項目に分けて下さい。
5. 本文は 400 字以内にまとめて下さい。

V. 演題受理および採択結果

演題の受付終了後、「演題受理」のメールを返信致します。数日しても返信メールがない場合は、お手数ですが下記問い合わせ先まで御連絡ください。また、「演題採択結果」に関しましては、演題の受理および査読後にメールを返信致します。

2019 年 8 月 20 日

VI. 発表形式

全ての演題発表は「口述発表」と致します。

VII. 大会抄録集

今大会では紙媒体としての大会抄録集は発行されません。11 月中旬には学会ホームページからダウンロードできるよう準備しておりますので、発表形式の詳細は学会ホームページを随時ご確認下さい。

VIII. 専門理学療法士制度ポイントに関して

参加者および発表者の方は、専門理学療法士制度ポイントとなります。当日は JPTA メンバーシップカードを持参して下さい。

IX. 演題・抄録送信先および問い合わせ先

〒910-856 福井県福井市江上町 58-16-1

福井総合病院 リハビリテーション課

第 7 回 福井神経理学療法学会 準備委員長 竹下 和良

E-mail : fukui.shinkei.reha@gmail.com

【編集後記】

わたしは、今年の夏は海もプールも行かず終わろうとしています。夏が 1 番好きな季節だったのですが、年々秋が待ち遠しくなっています。あと少し続きそうな暑さ、乗り越えていきましょう！



賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1-10-18
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
順不同	